

# 教点連ニュース 令和3年度 第2号 No.37

令和3年10月26日

今年、10月に入っても暑い日が多くありましたが、急に季節が進み、涼しくなりました。来年度に向けての点字教科書製作もいよいよ本格化してまいります。12月には第2回目となるオンラインセミナーを開催します。この機会に、遠方の方もぜひ多数ご参加ください。お申し込みをお待ちしております。  
(理事長 野々村好三)

## 【令和3年度第2回（32回）オンラインセミナーのご案内】

### ＜盲学校用の小学部英語点字教科書＞

日 時：令和3年12月4日（土）10：00～11：30（9：50から入室開始）

ZOOMオンライン

テーマ：「小学校の英語教科書の編集に携わって（主として5年生を中心に）」

講 師： 京都府立盲学校教諭 野々村栄人(しげと)先生

〔文部科学省特別支援学校小学部点字教科書編集協力者（英語）〕

内 容：

今回は、盲学校用の小学部英語の点字教科書の編集に携わっていた、京都府立盲学校教諭の野々村栄人(しげと)先生をお迎えし、小学校の英語の点字教科書がどのように編集されているかについてお話していただきます。

新たに小学校5・6年の教科となった英語の教科書は、導入期の英語点字の扱いや、多くの図があつて、点訳に当たられている方々を悩ましています。盲学校用の点字教科書がどのように編纂されているのかを知る良い機会です。ぜひ多くの皆様のご参加をお願いいたします。

プログラム：10：00～10：10 開会挨拶

10：10～11：10 野々村栄人氏ご講演

11：10～11：25 質疑応答と意見交換

11：25～11：30 閉会挨拶

対 象：本会会員（施設・団体会員の場合は、その施設・団体に所属されている方）

定 員：先着80名（オンライン参加）

参加費：無料

※事前質問がおありの方は、11月20日必着で、下記までお願いします。

お申し込み・問い合わせ：

氏名、所属名、メールアドレスを11月20日（土）までに、下記までお送りください。

藤下直美 e-mail：m-naomi@nagoya-lighthouse.jp

※お申し込みから72時間以内に返信メールをお送りいたします。

※当日の資料は事前にメールでデータをお送りしますので、各自でご用意いただきますよう宜しくお願いいたします。なお、資料プリントの郵送をご希望の場合は、点字か墨字も書いてお申し出ください。送付させていただく場合は実費負担となりますので、ご了承ください。

## 【令和3年度第1回（31回）セミナーのご報告】

日 時：令和3年9月4日(土)13:30~16:30

ZOOMオンライン

参加者：26名

テーマ：「『数学・情報処理点字表記解説 2019年版』の改訂ポイントと、今後の点字数学教科書の製作について」

講 師：白井康晴氏（東京点字出版所・日本点字委員会）

内 容：

2000年発行の『点字数学記号解説暫定改訂版』から『数学・情報処理点字表記解説 2019年版』発行までの経過、本の構成、用語・記号の変更・廃止、旧版からの主な変更点が内容でした。

構成としては、第1部算数、第2部数学は旧版と同じですが、第3部「情報処理点字表記の体系」が新設され、点図の意味と表し方が追加されました。

用語・記号の変更・廃止では、ブロック化カッコ→ブロックカッコ、ラテン文字・ローマ文字→英文字、行末のつなぎ符→式継続符、右肩添字→右上の添字、ナチュラル表記→標準表記、特殊記号→記号類、キャラクター→文字、フラグ→（前置）符、単独大文字符→大文字符、連続大文字符→二重大文字符に変更され、位取り記数法・[例 A] [例 B]の区別・記号化された文字・算用数字・数式中のスラッシュ・否定記号が廃止されました。

旧版からの主な変更点としては、第1部では、言葉を囲むカッコの応用例の追加等。第2部では、数式番号の入れ方について、空欄をレ下がりを使って書く場合、点図の意味と表し方等の追加がありました。

質疑応答では、割り算の余りの書き方、筆算の表し方のご質問があり、英語の資料としてパーキンスで縦に書く表し方の紹介や、ソロバンやピンディスプレイを利用することもよいと説明がありました。

また、『日本の点字 46号』に『数学・情報処理点字表記解説 2019年版』の編集に携わった方々の座談会が載る予定とのことでした。

ご講演いただきました白井様、ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

## 【点字考案200年記念事業推進委員会が発足しました！】

（事務局長 奥野真里）

間もなく、ルイ・ブライユが点字を考案してから200年を迎えます。私たちの身の回りでも、少しずつ日常生活の中に点字を見かけるようになりました。また、手紙やメモなど、書くという場面でも点字が活用されています。そしてなにより、読書をする喜びも点字によってもたらされたほか、学習の場面でも点字は欠かせない文字となりました。

そうした素晴らしい文字文化を与えてくれた点字が考案されて、200年を迎える4年後に向けて、さらに点字の理解と普及を進めようという目的で、この度、「点字考案200年記念事業推進委員会」が発足しました。この委員会には、日本視覚障害者団体連合、日本盲人福祉委員会、日本盲人社会福祉施設協議会など6団体から代表者が出席しており、本会からも代表者として奥野が出席させていただいています。

現在、音声を活用した読書支援ソフトや、AIソフトなどが次々と開発されて情報を得る手段は目覚ましく豊かになっていますが、視覚障害者の使用文字である点字はこれからも受け継いでいかなくてはならないと思います。特に、学齢期の点字使用の児童生徒にとって、語彙や知識を養う手段として点字をなくして学習はできないと言っても過言ではないでしょう。教科書の製作・提供をし

ている立場として、点字の重要性、意義などを他のメンバーとともに考え、企画に関わっていきたいと思います。

委員会では、定期的にオンラインで集まりを持ち、今後どのようなことを企画していくか、何を伝えていきたいかを検討しています。これからの活動に際し、皆様にもご協力いただくことがあるかと思いますが、詳細が決まりましたらお知らせいたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 【令和3年度臨時総会（書面）のご報告】

（理事長 野々村好三）

いつも、教科書点訳等にご協力くださり、ありがとうございます。

本連絡会は、長らく日本点字図書館に事務局を置いてまいりましたが、現状の人員体制を維持することが困難な状況にあり、本会の事業継続を前提に、新たな段階に進む必要が出てまいりました。

そこで、その一環として、定款改正を行う必要があり、9月28日付で書面議決による臨時総会を開催いたしました。会員の皆様におかれましては、ご多用中ご協力くださりまして、誠にありがとうございました。

この度意思表示いただいた結果、提案内容に対し、賛成31、反対1という結果になりました。この結果を踏まえ、所轄庁（東京都）に定款変更の手続きをいたしましたので、ご報告いたします。

なお本会では、活動の維持・継続のため、年度内に再度臨時総会の開催を予定しております。皆様には何かとお手数をおかけいたしますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 【参考1：9月28日付の臨時総会での定款変更案】

#### 《 変更前 》

（残余財産の帰属）

第46条 この法人が解散（合併による解散を除く。）したときに残存する財産は、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会に譲渡するものとする。

#### 《 変更後 》

第46条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げるもののうち、総会において議決したものに譲渡するものとする。

### 【参考2：上記法（特定非営利活動促進法）第11条第3項】

3 第一項第十二号に掲げる事項中に残余財産の帰属すべき者に関する規定を設ける場合には、その者は、特定非営利活動法人その他次に掲げる者のうちから選定されるようにしなければならない。

- 一 国又は地方公共団体
- 二 公益社団法人又は公益財団法人
- 三 私立学校法（昭和二十四年法律第二百七十号）第三条に規定する学校法人
- 四 社会福祉法（昭和二十六年法律第四十五号）第二十二条に規定する社会福祉法人
- 五 更生保護事業法（平成七年法律第八十六号）第二条第六項に規定する更生保護法人

## 【令和3年度第2回理事会記録】

日 時：令和3年9月25日（土）13：30～15：30

ZOOMオンライン

内 容：

1. 臨時総会を9月28日に開催、「定款改定」について書面決議をおこなう。
2. 退会手続きをしていない2団体（カトレアサービス、八尾点訳奉仕会野菊野の会）を意向があれば再度復活できることを条件に退会として扱う。
3. 12月4日（10：00～11：30）のセミナー及び第3回セミナーについて。
4. 「教科書点訳の手引き」製作進捗状況。
5. 「点字200年記念事業」について、奥野事務局長より報告。次回の会議は10月1日。
6. 臨時総会開催後の動きについて、12月までに検討する。
7. その他  
教点連ニュースNO. 2の発行について。  
次回理事会は、12月11日（土）午後ZOOMで開催。

以上

発行日：令和3年10月26日

発行所：NPO 法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

ホームページ：<http://kyotenren.web.fc2.com/>

発行人：野々村好三

連絡先：（社福）日本点字図書館 担当：川島

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：[kawashimas@nittento.or.jp](mailto:kawashimas@nittento.or.jp)

振込口座番号：0180-7-262151

口座名義：全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会